

「スギ」警報発令

コロナウイルス感染症の関係で、いろいろと制約の多かった夏休みを終え、「えー、もう夏休み終わり？」と、不完全燃焼のまま始まった前期後半、学校が始まったとはいえず、午前中授業が続き、生活リズムを整える難しさを感じながらのスタートとなり、感染症対策を継続しながら過ぎた後期前半も今日で終わり。

いよいよ明日から、子どもたちが待ちに待った冬休みに入ります。わずかに二週間ほどの休みではありますが、元旦を中心に年末・年始のご家庭でも特に忙しい時だと思えます。

例年であれば、子どもたちにとっていろいろな体験を通して、たくさんの方のことを学ぶ絶好の機会となる冬休みですが、夏休み同様、我慢の冬休みとなりそうです。学校の方では、冬休み中の学習について



指導しておりますが、それ以外は大掃除、片づけ、調理等々、ご家庭での体験の場を設定してあげてください。

そして、子どもたちが周りの山々の杉の木顔負けの、食ベスギ、テレビの見スギ、ゲームのやりスギ、お年玉の使いスギ、マスクの外しスギ、3密になりスギ等のスギを育てぬよう見守ってあげてください。

※ 尚、例年以上に子どもたちが家庭で過ごすことが多くなり、ついつい保護者の方も口や手を出したくなることもあるかと思いますが、(いや、絶対あるでしょうが)そこは、深呼吸でもされてグッとこらえてください。くれぐれも、親御さんの方が先に「スギ」を出されませぬよう、ご注意ください。



NO. 18 (冬休み突入号)

黒木西

R3. 12. 24 (金) 文責：校長 齋藤英義

黒木西小学校だより

Time is Money

「ひまだ！」を

に変えよう!

長期休業に入る前、いつも言っていることですが、私は担任に、二つのことを話してもらおうようお願いしました。

「命を守る」ことと

「人に迷惑をかけない」ということです。

今回も同じですが、こんな時だからこそもう一つだけ欲張りたいと思います。

「時間を上手に使おう」ということです。

クリスマス、大晦日、お正月、うっかりしていると、暖かい部屋で何となくテレビを見ながら時間だけが過ぎていくということになりかねません。

右記の「スギ」警報発令にも書いておりますが、**時間を上手に使って充実した休みを過ごしてほしい**と願っています。

以前読んだ本の中に、次のような文章がありました。



『朝目覚める。すると、不思議なことに、あなたの財布にはまっさらな二十四時間がぎゅっしりと詰まっているのだ。そして、それがすべてあなたのものだ。これこそ最も貴重な財産である。時間は実に不思議な貴重品である。そして、それ自体の不思議さもさることながら』



ら、その与えられ方も不思議といえば、不思議である。考えてもごらん下さい、誰も時間をあなたから取り上げることができないし、盗むこともできない。そしてあなたより多く与えられている者も少なく与えられている者もないのだ。

(中略)

そのうえ、先の分まで引き出して前借りするなどということもできない。できるのは、**過ぎ去っていく現在という時間を浪費するにだけだ。**

明日の時間を浪費することはできない。それはあなたのためにとっておかれている。『アーノルド・ベネット著、渡部昇一訳「自分の時間」』

このコロナ禍の中で、十七日間という時間を、どのように使うのか…。時間の有効活用ができるよう、応援よろしくお願いたします。

**あわてないあわてない
一休み 冬休み…**

この通信を見られて、もうお気づきの方も多と思いますが、外枠が冬に関する事(一部苦しいものもありますが)のしりとりとなっております。しかし、ただのしりとりではなく、一部空白しておりますので、その中に何が入るのか、ご家庭で話題にしていただければ幸いです。

(「校長先生もヒマね。」という声が聞こえてきそうですが…)

